

ったということ、今までは埋もれていて人の注目を惹かなかった幼稚園がここらになって漸く人々の心に目覚めてきたということも重なったのであろう、祝賀の会が三日間ももたれたのであった。祝賀式での伯爵、林博太郎博士の祝賀の講演・沢柳政太郎会長の祝賀の挨拶などが印象に残っている。

祝賀のパーティーは帝国教育会館であったと記憶しているが、幼児教育界挙げての祝宴で、卒業したの私にはまことにはなやかな晩餐会で、このときに出席するためになけなしのお金で、お召の単衣を新調したあのときの感激がいまも、まざまざと胸によみがえってくる。

このころ倉橋先生にお手伝いをして「幼児の教育」を編集していたのであったが、この新たに加わった「觀察」は、その後しばらくのあいだは「幼児の教育」の中心課題となり、理論に実際に脈々しく論義がかわされたものであった。

(お茶の水女子大学附属幼稚園)

歌

松木ゆきの

菊の花を見て描く児ら

咲きほこる八重菊かこみ描く児らは

いろとりどりに美しくして

菊の花を見て歌う

咲きにおう八重菊かこみ児らのむれ

うたう姿ぞ愛らしくして

和

園外の寺にて落葉拾い

古寺のいちょうに遊ぶ幼児たち

手に手にみつるいちょうたばねて

(香川県観音寺幼稚園)